

人類働態学会 20期 第4回理事会

日時：2009年4月25日（土） 10:00～12:00

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席者：岩田浩子 榎原 毅 片岡洵子 酒井一博 竹内由利子 中田英雄 平野和彦 堀野定雄
真家有生 松田文子 松村秋芳 水野有希 山田有佳倫

配布資料： 資料1 20期第4回理事会次第 資料5 決算・予算案
資料2 活動報告・活動計画 資料6 第44回大会プログラム
資料3 日本学術会議への申込書 資料7 J-STAGE 資料
資料4 40周年記念事業資料

会員動向（下記を含め212名）

<退会>

石井勝 東信子 武山英麿

<入会>

山崎昌廣（広島大学大学院総合科学研究所）

●議事

1. 2008年度活動報告・2009年度活動予定

松田事務局長より、資料に基づいて説明があった（資料2）。

活動報告および活動予定を確認し、次回の総会資料とすることに決定した。

2. 2008年度決算・2009年度予算案

竹内理事より、資料に基づいて説明があった（資料5）。

- ・決算について、収入はJHEの売上げが倍増し、43回全国大会からの返金があった。支出はJHE発行部数を減らしたことにより支出が減少した。
- ・予算では、「働態研究の方法」の印刷を300部として予定し、会員に対し1冊は無料配布し、2冊目以降は2000円で現金購入とする。しかし、需要が予定数を上回る場合もあるため、印刷部数は要検討。

3. 40周年大会

- ・人類働態学会の発足年月日は、第1回総会開催日の1970年6月13日とすることに決定。
- ・今年度は準備期間とし、40周年大会の実施を2010年にする。
- ・40周年大会として、アジアを中心に招き国際シンポジウムを開催する案が挙げたが、招待者の旅費が発生するため、次回の理事会で審議する。

4. 学術会議登録の件

松田事務局長より、資料に基づいて説明があった（資料3）。

- ・人類働態学会の発足年月日を1970年6月13日とし、書類を提出することとした。

5. 45 回大会、2010 年夏季研究会

- ・次回大会は岸田理事が大会長として、中京大学で開催する。
- ・大会期間中に夏季研究会を開催することは困難であるため、8 月頃実施を検討。夏季研究会の担当は、岸田理事、酒井理事とする。

6. その他

1) 滞納者への対応

- ・滞納者にはできるだけ学会に残ってもらうよう努め、今年度の分から入金してもらい、徐々に支払うようにする声をかける。滞納中の退会希望者には、財政状況を理解してもらう。

2) J-STAGE の入会

J-STAGE 担当者 2 名より、資料に基づいて説明があった（資料 7）。

- ・理事会として、J-STAGE（電子ジャーナルの無料公開システム）に JHE を申込みすることを決定した。
- ・J-STAGE の電子アーカイブ事業の申込み締め切りが 6 月であるため「Journal@rchive」に申込み。

●報告事項

各担当よりの報告

44 回大会

- ・一般演題は 29 題。発表時間は 12 分とし、発表が 10 分、質疑応答が 2 分。
- ・シンポジウムは前日の大会長講演で問題定義をしてもらい、シンポ後にグループワークを検討。
- ・夏季研究会は 1 部, 2 部, 3 部と分かれており、クラブ見学後、学生を交えてグループワークを行う。

広報

- ・HP をリニューアルした。今後、コンテンツの整理を随時行っていく。

研究推進

- ・人類動態学会で学会主体の研究を検討。案として、生活必需品の調査を考えているが、次回の理事会まで内容を精査し、審議事項として理事会にはかる。
- ・これまでの共生シンポをまとめて本にすることを検討。

国際交流

- ・IEA の理事会に、堀野・城が出席予定。

JHE

- ・J-STAGE に JHE の申込みを検討した。「Journal@rchive」は、日本の代表する雑誌 500 部で創刊号から掲載され、アーカイブにも JHE を申し込むこととした。J-STAGE 関連のシステム登録は無料。
- ・NII-ELS で電子化している場合、J-STAGE では論文の電子化は行わない。

次回の理事会は、2009 年 6 月 13 日（土）の 11 時～ を予定。

以上